



豪快！秋サケ釣り

豪快な引きが魅力の秋サケ釣り。

サケが登る登別川の河口から続く海岸線は、サケ釣りの絶好のポイント。

北海道ならではのサケ釣りのだいごみは、釣り上げるまでのサケとの格闘。

今日も、林立する釣りざおの放列が獲物をねらいつづける。

NOBORIBETSU

広報
のぼりべつ

'90.11.1

No.481



人が豊かになり、自立できるようにと考え登別地域大学が設立されました。

十月十五日市民会館で行われた設立総会には、四百五十人の登録者の大半である三百八十人余りが出席し、校則、事業計画を決め、初代学長に中山浩資日本工学院北海道専門学校長が選ばれました。

あいさつの中で中山学長は、「人との触れ合いがある登別にしようとの思いが今回の大学設立につながった。更に一人でも多くの人に参加してもらい、輪を広げたい。」と述べました。

引き続き第一回目の講演会に入り、「ドラマと人生」のテーマで脚本家のジェームス三木さんが登場し、自から手がけたテレビドラマ「独眼竜政宗」などの制作の裏話をユーモアを交えて披露。トラブルを解決できることと自分のスタイルを持つことが人生で大切。」と話していました。

第二回目は、来年一月二十八日に手話通訳者の丸山浩路さんを招くとのことでした。

登別地域大学

スタート！

※入校についてのお問い合わせは
同校事務局（☎2913）まで



幌別中学校とデンマークのノアエア校の姉妹校提携の記念式典が十月十九日、同校体育館で行われました。

両校の姉妹校提携は、今年九月に北欧を訪れた登別市海外派遣調査団が実現させたものです。

幌中の全校生徒約四百五十人が拍手で迎える中、札幌・デンマーク通商事務所のウルリック・ダール所長、マリンパーク・ニクスから二人のデンマークの女性ら十人余りが入場。

北川校長とダール所長が、「末永く交流を続けたい」とあいさつした後、親しく交流を行うブリッジ学級（一年A・C組）が合唱を披露し続いてプラスバンドによるデンマークになじみのある曲を演奏、この日の式典を祝いました。



わ だ い

スクランブル

カムイヒュッテ 完成



多くの市民に親しまれているカムイヌプリ（標高七四五）六合目に、このほど山小屋が完成しました。

この山小屋は、登別山岳会が昭和五十六年に建設を計画し、十年余りの歳月をかけて手づくりで建設したものです。

十月七日の落成式には、山の仲間約七十人が集まり「カムイヒュ

ッテ」と書かれた看板を除幕、赤飯とキノコ汁で完成を祝いました。

同ヒュッテは、一部中二階建て、板敷きで約五十平方メートルの広さがあり三十人余りが宿泊できる立派なものです。

同山岳会の松田会長は、「多くの方に利用してもらいたい」と話していました。

なお、同ヒュッテの利用を希望される方は、河村勝さん（☎069）にご連絡を。



デンマーク国鉄総裁 マリリンパーク 訪問

JR北海道とデンマーク国鉄（DSB）の姉妹鉄道提携のため来道していたピーター・ランゲアー総裁が十月十七日、マリリンパーク・ニクスを訪れ、デンマークの街並みを模した園内を見学しました。

今回の姉妹鉄道提携は、本道とデンマークの自然や社会環境が類似していることから行われたもの



で十六日の調印式を終えてこの日の来訪となったものです。

同総裁は、「故郷に帰ったようです」と笑顔であいさつ。マリリンパークも来訪を記念して、DSBの汽車をモデルにしたデンマーク製の木製の汽車を広場に置き、来園する子供たちによるこんでんでもらうことにしています。



登別戦没者 追悼式

追悼式

第二十回登別市戦没者追悼式が九月二十八日市民会館で行われ、戦争で亡くなった方々の霊を慰めました。

式には遺族の方や関係者約三百人が出席し、三百五十五柱に黙とうをささげ、遺族を代表して長谷川サトさんが「日本の礎となった皆さん、どうぞ安らかに眠りください。平和を誓います。」と追悼のことばを述べ、出席者一人ひとりが献花しました。



安全運転 お願いします

お願いします



「交通安全を防ぐため安全運転をお願いします。」と九月二十六日富岸小学校の六年生が同校前の道々で道行くドライバーに自分たちで作ったジャガ芋を贈り呼びかけました。

今年初めて勤労体験学習としてジャガ芋とトウモロコシを作り収穫した中から、秋の交通安全運動の一環として実施した。六年生百四十六人が一人ひとり交通安全を願う手紙を添えてジャガ芋を手渡すと、思わぬプレゼントにドライバーも笑顔でこたえていました。

この改修事業は、老朽化した施設をリフレッシュするため行ったもので、鉄製窓枠のアルミサッシ化、外壁塗り替え、内部床張り替え、屋上防水工事などのほか玄関には車いす利用者用のスロープを設けました。

↓図書館改修事業 4,000万円



↑東町36号線コミュニティ道路整備事業 8,700万円

登別マリンパークへ通じる道路としてメルヘン情緒いっぱいのコミュニティ道路が完成しました。総延長180㍍、幅員11㍍、車歩道には北欧をイメージしたカラーブロックキング、街路灯などを配置し登別マリンパークのテーマに合った道路整備を行いました。

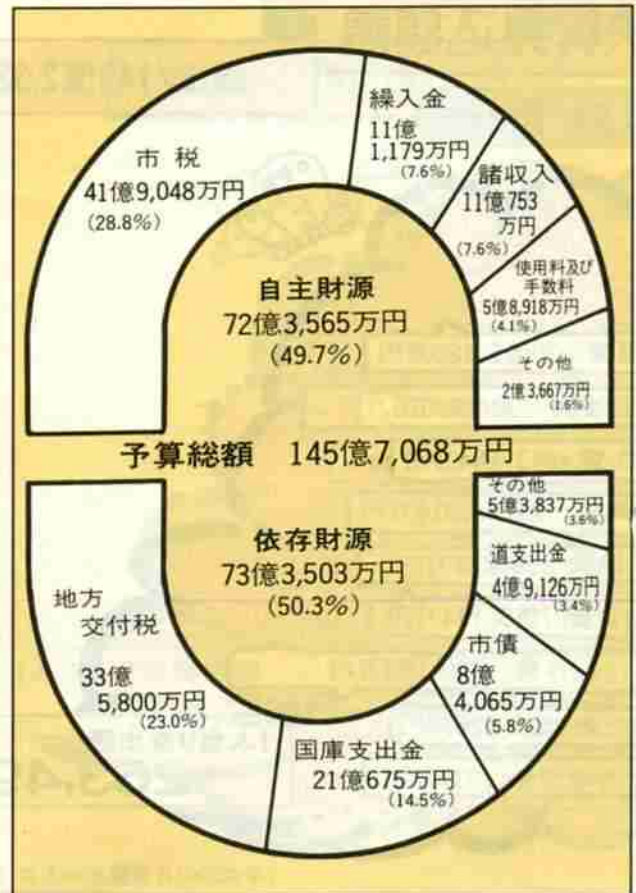
平成2年度の 主な事業紹介

特別会計

会計区分	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率%	支出済額	支出率%
国民健康保険特別会計	419,858	85,130	20.3	200,167	47.7
観光事業特別会計	11,710	5,374	45.9	4,953	42.3
学校給食事業特別会計	39,470	9,995	25.3	15,391	39.0
公共下水道事業特別会計	192,950	24,768	12.8	60,895	31.6
老人保健特別会計	404,954	163,127	40.3	154,609	38.2
富岸土地区画整理事業特別会計	22,200	14,712	66.3	5,620	25.3
合計	1,091,142	303,106	27.8	441,635	40.5

平成2年9月30日現在

一般会計予算財源の内訳



水道事業会計

区分	予算額	執行額	執行率(%)
収入等			
収入総額	74,180	27,727	37.4
補てん充当額	12,700	0	0
計	86,880	27,727	31.9
支出総額	86,680	32,748	37.8

平成2年9月30日現在

市税の内訳

予算総額 / 41億9,048万円

- 市民税: 18億9,461万円 (45.2%)
- 固定資産税: 15億1,744万円 (36.2%)
- 軽自動車税: 1,951万円 (0.5%)
- 市たばこ税: 2億7,238万円 (6.5%)
- 特別土地保有税: 3,731万円 (0.9%)
- 入湯税: 2億2,030万円 (5.2%)
- 都市計画税: 2億2,893万円 (5.5%)

この建替事業は、平成元年度から着手し、元年度は2億3,100万円です。1階には老人世帯向け住宅4戸を建設しました。今年度は1億3,000万円を計上し、来年度の継続費設定額1億3,900万円と併せて1棟20戸を建設する予定です。(完成は来年度)

↓緑ヶ丘団地建替事業 1億3,000万円



↑登別ビーチパーク新設事業 1億8,200万円

登別マリナーパークのオープンに併せて同施設の前庭部分を整備したものです。園路整備、植栽、芝張など同パークのイメージと一体となった公園施設の整備を実施し市民はもちろんのこと訪れる観光客の憩いの場となっています。

この事業は、平成元年度と今年度の2カ年事業で、総事業費1億8,200万円をかけて校舎の大規模改造を実施したものです。教室内壁・建具改修等の内部改造と外壁モルタル塗装補修、窓枠のアルミサッシ化などの全面的な改修を行いました。

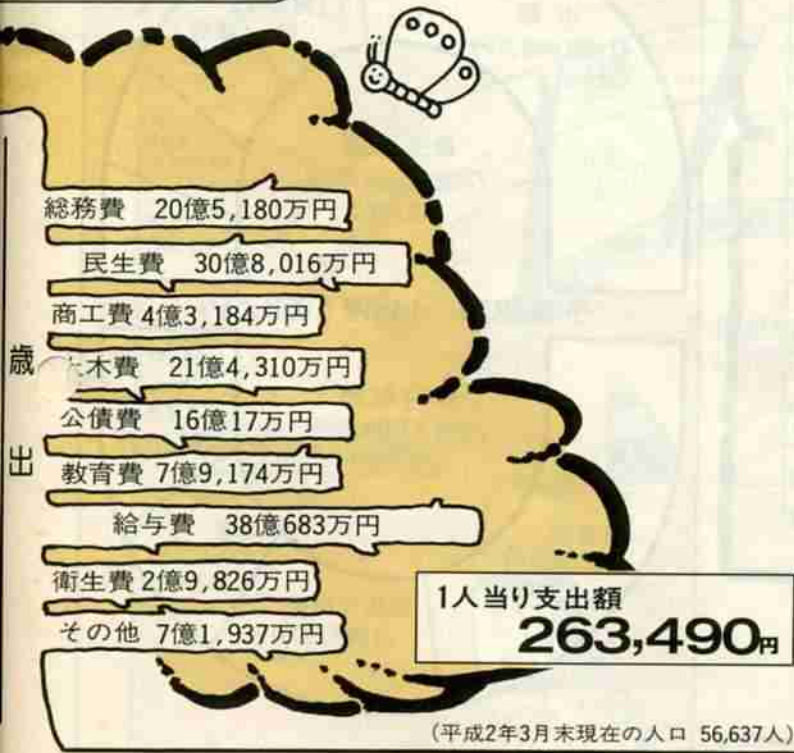
↓登別小学校校舎改造事業 8,200万円



年度決算見込額調

一般会計

歳出/149億2,327万円



平成元年度 主な事業のあらまし

- ◎市道舗装排水整備事業 3億4,700万円
市民要望の件数の中で最も多いのが道路舗装と排水整備です。元年度では、市道の舗装や破損修理、排水の整備など積極的に取り組みました。道路改良19路線、排水整備43件、市道舗装33路線。
- ◎富浦地区コミュニティセンター建設事業 4,900万円
富浦地区の老人憩の家、漁業会館等は老朽化が著しかったためこれを統合し、地域の集会・学習・サークル活動の拠点として建設しました。外観も富浦地区にマッチした番屋風にデザインするなど地域のコミュニティセンターとして活用されています。
- ◎鷺別テレビジョン中継局建設事業 4,600万円
若草・新生・富岸町の一部がテレビ難視聴地区となっていたことから、これを解消するため鷺別岬にテレビジョン中継局を建設しました。本年3月23日から本放送が開始され同地域の約千世帯に鮮明な画像が届けられることになりました。
- ◎はまなす国体開催経費 6,400万円
「君よいま、北の大地の風となれ」をスローガンに全道各地で開催された「はまなす国体」本市では9月18日から21日までの4日間日本工学院北海道専門学校のアリーナを舞台にバドミントン競技が開催されました。数々の好プレーと郷土の期待を担った若者の熱戦に会場はむせかえるばかりの熱気に包まれました。またこの大会を支えた市民の一人ひとりのさわやかさが印象的でした。
- ◎登別温泉地域総合整備事業 2,000万円
昭和60年度から実施しているこの事業。平成元年度は、地獄谷遊歩道を設置しました。地獄谷のほぼ中央に位置する鉄泉池まで全長150㍍、道南杉を防腐加工した木製のこの遊歩道は地獄谷を間近に見るとあつて観光客に好評です。

歳出



将来に向けたまちづくりのために

登別市が21世紀に向けてさらなる飛躍をするためには、しっかりとした基礎固めが必要です。

今年度は将来に向けたまちづくりの基本となる各種「基本計画」の策定作業を行っています。

- ◎観光振興基本計画……本市の基幹産業である観光の将来的な在り方を検討しています。
- ◎ごみ処理基本計画……環境衛生の推進とまちの美化という観点から将来のごみ処理について検討しています。
- ◎登別温泉まちづくり基本計画……登別温泉街の道路や河川の整備とあわせたまちづくり計画について検討をすすめています。
- ◎市街地整備基本計画……機能的で快適な都市環境の形成を図るため長期的視点にたった都市計画について検討しています。

市制施行20周年を記念し登別温泉のシンボルである“鬼”をテーマに8月24日から26日の三日間、全国の鬼に関する話題を集めて“鬼サミット・登別”が開催されました。「全国首長鬼サミット」「鬼文化講演会」「鬼芸能フェスティバル」など多彩な催しが展開されNHKの衛星放送でも生中継されました。

↓地域振興事業(鬼サミット・登別)
1,100万円

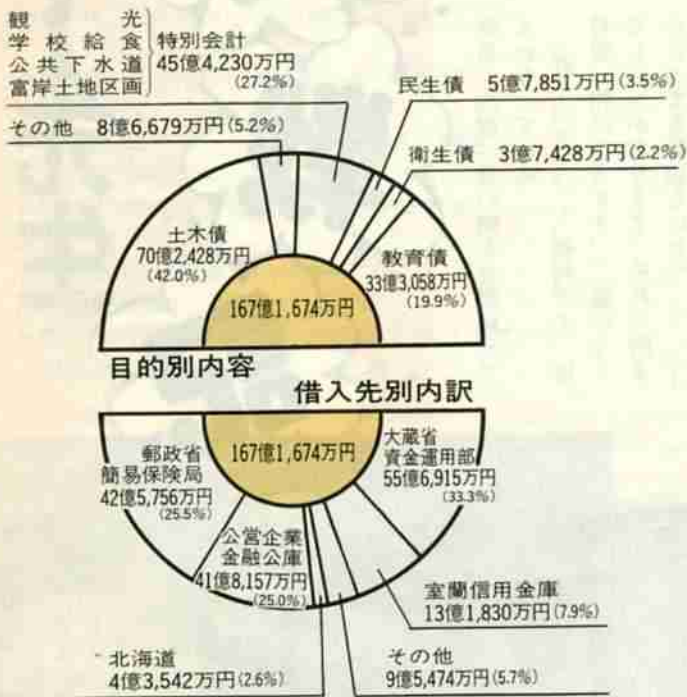


↑国際交流事業 500万円

進展する国際化の中で国際感覚を身につけた人材を育成するため今年度は積極的に国際交流事業を推進しています。7月にはデンマーク・ミッドフュンズ高校合唱団52名を招き地元合唱団との合同コンサート、ホームステイなどで交流を深めました。また本市初の海外派遣調査団を北欧に派遣しました。

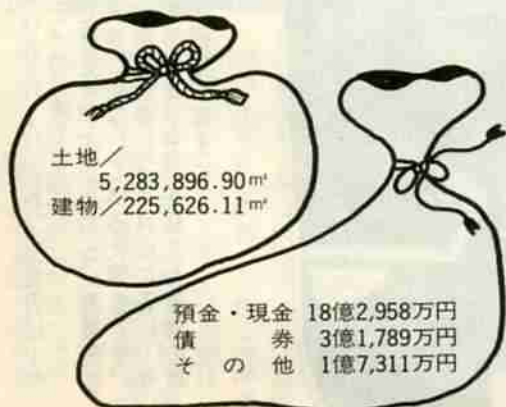
市で借りているお金

(市債元金のみ、平成元年度末現在)



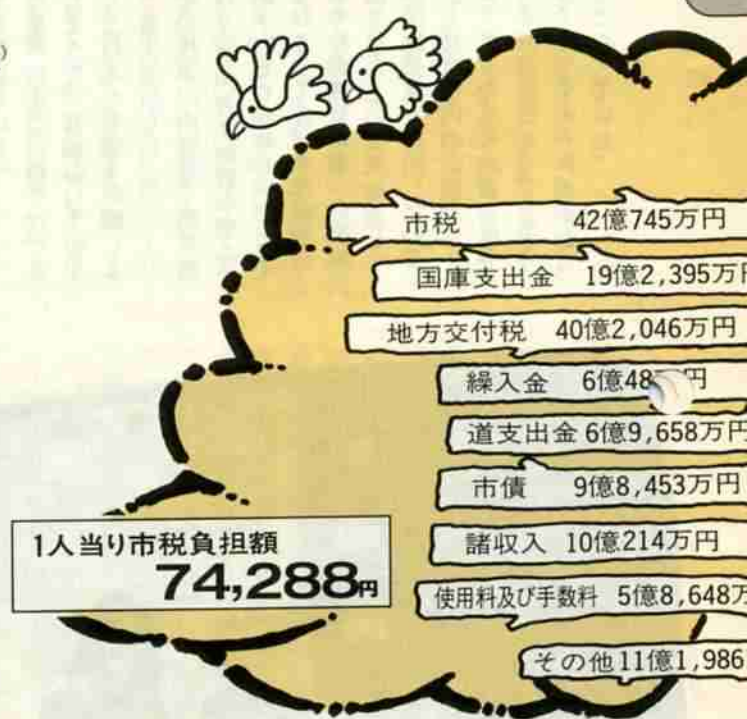
市有財産の内訳

(平成元年度末現在)



歳入/151億4,193万円

平成元



特別会計

歳入

9,285万円	観
3億8,776万円	学
2億9,493万円	富
19億6,886万円	公
36億2,899万円	老
28億4,748万円	国



ピーター先生

奮戦記

もちつきで

最初の交流

ピーター先生が到着して間もない八月八日、市内では小、中学生対象の「ふるさと少年交流キャンプ」が行われていた。この事業は、子供たちに昔の生活用具を使ったキャンプを通して昔の生活や苦勞ぶりを体験してもらおうと市のふるさと広場実行委員会が主催したもので、市内の小、中学生のほか東京から「東京のぼりべつげんきかい」の子弟六人も参加。夜の肝だめし用のカンテラづくりやけん玉遊びのほか、郷土資料館に保管してあるまきストーブを使って釜でもち米を炊き本物のウスとキネを使ってもちつき大会などが行われた。

このキャンプにピーター先生も

飛び入りで参加。子供たちを前に「私はピーター・ジョン・ヘンテイです。四日前にこの登別に到着しました。よろしくお願ひします。」と日本語であいさつ。

また、生まれて初めてというもちつきにも挑戦。子供たちのかけ声にあわせキネを持つ手にも力が入り、手伝いの老人クラブのお年寄りのあいどりでうすをつき上げた。

ピーター先生にとってこの日が初めての「お目見え」。もちつきという日本古来の習慣と子供たちの明るい笑い声に迎えられ、登別の一年間が始まった。

一人喜しも

楽しいです

ピーター先生は、いま、市内中央町のマンションでひとり暮らし。

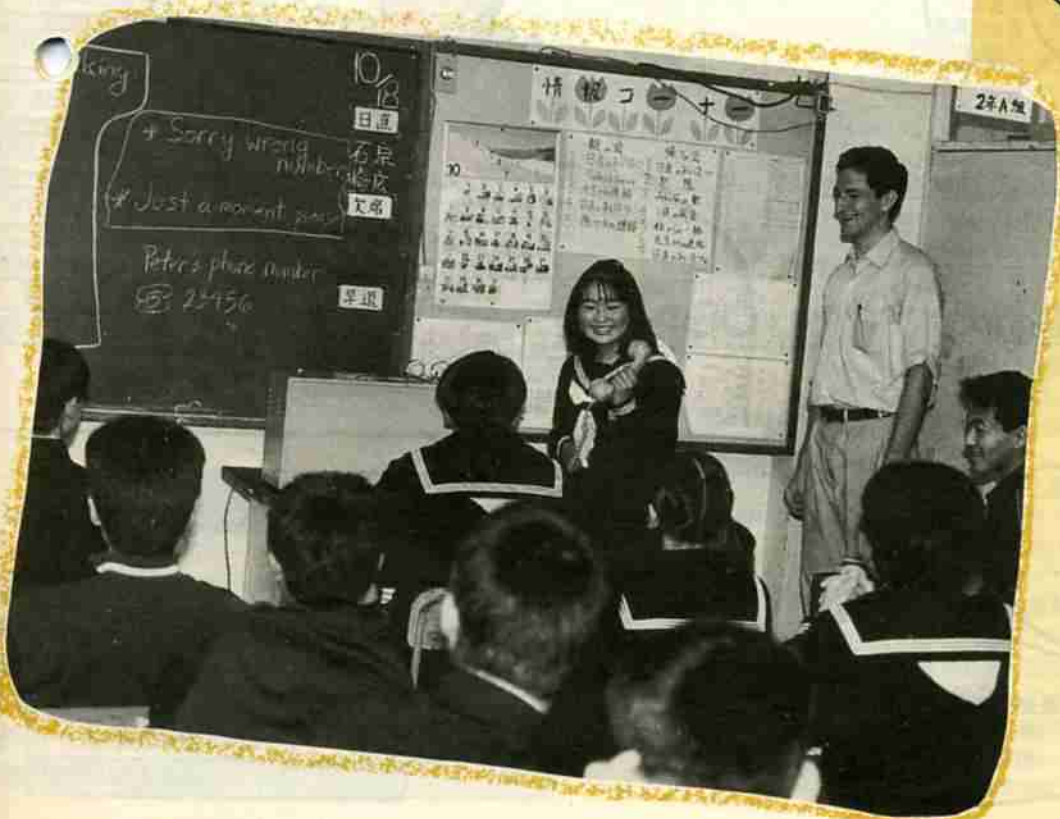
炊事、洗濯、買い物と全部自分でまかなっている。

「近くのスーパー、便利です。毎日買い物に行きます。ご飯がなくともパンがあります。それに肉まんとってもおいしいヨ」

多忙な生活の中での色々なでき事も楽しそうだ。普通の日本の生活を通して日本や登別を理解しようという考え方らしい。

登別での仕事の内容は、語学指導等を行う「外国青年招致事業・英語指導助手」といかにめしいがピーター先生はきさくだ。中学校での英語指導や社会教育事業への参加、登別の様々な人との交流を通して、普段着の国際交流を目指している。

八月、九月は市内のお祭りシーズン。ピーター先生も浴衣がけで市民手づくりの緑日をそぞろ歩き、通りを歩く中学生から声がかかる笑顔でこたえていた。



今年度、市が実施している外国青年招致事業で、いま、米国人青年が中学校英語教師助手として来登しています。

この青年は、アメリカ・ハリントン出身のピーター・ジョン・ヘンティ(23歳)さん。

アーシンス大学で歴史を学ぶかたわら、教員資格取得のためヨーク大学に在学している大学生です。

今年の8月4日登別に到着し3ヵ月になるピーター先生にスポットをあててユーモアを交えた授業の様子や暮らしなどを紹介します。

ハローティス イス ピーターズ スピーキング

—授業風景—

午前九時三十分、始業のベルが鳴る。登別中学二年A組の英語の授業時間だ。英語の担当の船根潔先生の後から金属製の箱と電話機二台を抱えた身長一八八センチのピーター先生が教室へ入る。船根先生とピーター先生が黒板の前に立ち朝のあいさつ。「グッドモーニング」ピーター先生が大声で呼びかける。「グッドモーニング」応える生徒たちの声は心なしか小さい。もう一度大きな声で「グッドモーニング」

今度は生徒たちも元気な声で「グッドモーニング」。

「今日は、英語で簡単な電話の掛け方を練習します」と授業の内容について船根先生から説明があり、ピーター先生が登壇。チョークを持って黒板に向かい横文字を書き始めた。

PETER'S TELEPHONE

COMPANY (P.T.C)

A: Hello.

B: Hello. This is PETER'S

Speaking.

May I speak to Taro?

A: This is Taro.

B: Would you like to NOBORI-

BETSU MARINE PARK?

A: Yes, I'd love to.

(No, I'm sorry, I can't.)

B: I'm glad to hear that.

(I'm sorry to hear that.)

A: Thanks for calling.

Good-by.

B: Good-by.

ピーター先生と生徒の会話の例である。ピーター先生が電話で生徒を「くに行きませんか」と誘うシーンである。

船根先生が、「くへ行きませんか」という使い方はまだ習っていませんがおぼえておくように、それから簡単な電話の掛け方を二台の電話機を使って実際に前に出てやってみます」と言うところ。

というどよめきが教室に響き渡る。最初に船根先生とピーター先生が模範を示す。船根先生がダイヤルを回し、ピーター先生が受話器を取る。ピーターさんはいますか？いいえ、違います。間違い電話の応対をしたピーター先生。教室内は爆笑に沸く。船根先生も苦笑い。船根先生、再びダイヤル。今度は普通に会話が進む。さあ、いよいよ生徒がやるのだが指名されるのか期待と不安の混じった顔・顔・顔。男子生徒二人を船根先生が指名。不安な顔でダイヤルを回す。二回、三回ベルが鳴る。もう一人の生徒は五、六回ベルが鳴ってからようやく受話器を取り上げ

る。会話が始まってうまく話せない一人の生徒へピーター先生がそつと近づき、小さな声で助け舟を出す。他の生徒も真剣に聞いている。一組目が無事に終わった。ユーモアを交えた授業展開に四十五分はあっという間に過ぎる。授業は、船根先生が基本的な文法や意味を解説し、ピーター先生がイントネーションや発音の仕方などを補助する。非常に分かりやすく、生徒にもきわめて好評だ。この日の授業で登別中学校の授業は終了。最後に船根先生が英語でピーター先生にあいさつ。生徒たちの大きな拍手が教室に響き渡っていた。



Profile プロフィール

- ▶ 出身地 / アメリカ合衆国ヴァーモント州バーリントン
- ▶ 生年月日 / 1967 (昭和42)年7月9日
- ▶ 家族構成 / 両親と弟1人
- ▶ 学歴等 / アーシンス大学卒業 現在ヨーク大学在学中
- ▶ 日本での経験 / 1986年6月、88年春来日
- ▶ 趣味 / クロスカントリー、クラシック音楽鑑賞、読書、ハイキング
- ▶ 希望 / 同年代の友人が欲しい
- ▶ 登別の印象 / 海・山など自然が豊かですばらしい。



市民と

幅広い交流を

めざして

着任してからほぼ三か月。登別の生活にも慣れ、三校での授業を終えたピーター先生。今後は、来年七月まで残りの四中学校で教壇に立つほか市が行う国際交流事業にもアドヴァイスする予定。これからは、市内のあちこちでピーター先生と市民の交流の姿が見られることだろう。今後の活躍が期待される。

友達の輪

二人三脚…15年



遠藤 静子さん
(40歳) 富士町在住

生まれも育ちも登別で、結婚して十五年、主人の仕事の都合で二年間北見へ離れましたが、登別へ戻ってきました。柏木町に美容室を開いて八年、現在地に来て五年過ぎました。お店の名前は、独身の時に勤めていた室蘭の先生の美容室の名前をいただきました。

幼い頃から夢みてた好きな仕事を一生続けられるのは幸せですね。仕事をしていてつらいこともあり。子供を育てながら家庭と仕事でしよ、住まいが一緒なので子供が幼稚園や学校から帰ってきたときもさみしい思いをさせないですみますけどね。主人も美容師なので朝から晩まで一緒でしよ、空気のような存在ですね。この仕事は常に腕をみがいていかなければ遅れますからね。いまはご自分で手入れのしやすいように、ヘアーに

気を使っていらつしやる方が多いですし、皆さんおしゃれですね。お客様の中に、苦小牧から来て下さる方や、ストレス解消に一週間に一度シャンプー、ブローにみえる方もいます。お勤めの方や時間のない方のために、金曜日は夜十時迄やっています。趣味は、陶芸、紙ねんど、ドライフラワー、登山は主人に勧められて始めたばかりですが、自然がいいですね。観葉植物も大好きです。

将来は、お嫁さんを作りたいですね。疲れますが楽しいですよ。娘がいないので、よそのお嬢様を美しくしてさし上げたいですね。

次回、遠藤さんご紹介の富士町在住・山下峻二さんです。
お楽しみに！

こんなところ あんなところ

私の好きな場所

薬師如来

今から百二十年余り前の文久元年（一八六一）、地獄谷から火薬の原料となる硫黄を採掘していた南部藩枋内氏の家臣善四郎の職人が、以前から患っていた目をお堂の下からわき出るお湯で洗ったところこの眼病が全快したことから、そのお礼として石碑を寄進したもので、地獄谷展望台のすぐ左下にあるこ



の観音様、お湯が熱いため十分注意をしないと危険です。
なお、この薬師如来は、題目石、陀作観音とともに登別温泉の三大史蹟と呼ばれています。

十一月九日は一九番の日

一九番通報は正確に

「一九番の日」は、国民の防火、防災意識の高揚を図ることを目的として、昭和六十二年度から設けられています。

緊急時には、一九番し次のことを正確に言ってください。

● 火事が起きてしまったら……

「火事です。○○町○○丁目○○番地○○、氏名○○です。建物○○の種類（一般住宅・工場等）が燃えています。目標は○○の近くです。」

● 救急車を利用する時は……

「救急です。誰がどうなっているのか（できるだけ詳しく）場所は○○町○○丁目○○番地、氏名、電話番号、目標は○○の近くです。」

● 優良勤労青少年表彰

市内に居住する二十八歳未満の勤労青少年で、日常生活に誠実さが認められ、職場においても勤務年数が三年以上でその職務に忠実、精励であつて職務技能の向上、研さんに努めるなどの熱意がみられ他の働く青少年の模範となるもの

● 推せん者

一般市民又は関係機関並びに係団体

● 推せん・選考方法

教育委員会にある所定の推せん書に記入のうえ提出し、青少年問題協議会において選考・決定

● 推せん締切り日 十一月二十日（火）

● 問い合わせ 教育委員会社会教育課青少年係（☎1100）

他の模範となる勤労青少年

登別市青少年問題協議会は、郷土登別の担い手としての豊かな心と実践力を育成し、かつ、勤労意欲に富み、自立心豊かで他の模範となる勤労青少年の表彰を行います。

● 皆さんの推せんをお願いします。

● 表彰の種類及び対象

● 青少年善行表彰

市内に居住する二十八歳未満の青少年で、その活動が特に優秀と認められ他の青少年の模範となるもの

● 青少年団体活動者表彰

市内に居住する二十八歳未満の青少年で、市内に組織されている青少年団体に三年以上所属し、現に活発な団体活動を続け、その活動に著しい努力や業績が認められ、他の青少年団体活動の模範となるもの

● 団体 市内に組織されている青少年団体で、五年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であつて、たえず堅実活発な活動を続け心身ともに豊かな人間性の形成につとめ、他の模範となるもの

● 優良勤労青少年表彰

市内に居住する二十八歳未満の勤労青少年で、日常生活に誠実さが認められ、職場においても勤務年数が三年以上でその職務に忠実、精励であつて職務技能の向上、研さんに努めるなどの熱意がみられ他の働く青少年の模範となるもの

● 推せん者

一般市民又は関係機関並びに係団体

● 推せん・選考方法

教育委員会にある所定の推せん書に記入のうえ提出し、青少年問題協議会において選考・決定

なるもの
● 青少年団体活動者表彰
市内に居住する二十八歳未満の青少年で、市内に組織されている青少年団体に三年以上所属し、現に活発な団体活動を続け、その活動に著しい努力や業績が認められ、他の青少年団体活動の模範となるもの
● 団体 市内に組織されている青少年団体で、五年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であつて、たえず堅実活発な活動を続け心身ともに豊かな人間性の形成につとめ、他の模範となるもの
● 優良勤労青少年表彰
市内に居住する二十八歳未満の勤労青少年で、日常生活に誠実さが認められ、職場においても勤務年数が三年以上でその職務に忠実、精励であつて職務技能の向上、研さんに努めるなどの熱意がみられ他の働く青少年の模範となるもの
● 推せん者
一般市民又は関係機関並びに係団体
● 推せん・選考方法
教育委員会にある所定の推せん書に記入のうえ提出し、青少年問題協議会において選考・決定
● 推せん締切り日 十一月二十日（火）
● 問い合わせ 教育委員会社会教育課青少年係（☎1100）

生涯学習

コーナー

豊かに生きるために

これからの社会では、自由時間が大幅に増えます。八月号でも述べましたが人生の三分の一強の生活時間があなたの意志によって過ごせるわけです。数年前までは余暇・レジャーと言う表現で、周囲に気がねしつつ過ごすような感覚を持っていたのでないでしょうか。しかし、これからの社会環境にあっては、「遊び」ひとつとってもそれは豊かに生きるための大切な生活分野なのです。その中から自分に適した内容・方法を見つけ喜びや感動を覚え、さらにその学んだことを周囲の人々に広めていけば立派な学習ボランティアとして地域のために尽くされていることになりま。ですから、自由時間の過ごし方はその人の心の持ち方、意欲にかかっていると云えます。

生きる喜びを味わう(生涯学習)のために、現在のあなたの姿を次の表で照らしてみてください。
さあ、あなたはどちらの型に近いのですか?
「まだ型」に近づく努力をしませんか。そこで、自由時間を充実して生かすことの二スとして次の四つ

あなたは どちらの型?

型	「もう型」の人	「まだ型」の人
姿勢	やや、前かがみで消極的	胸を張り、積極的
話題	懐古的(昔はよかった)	理想的(将来への展望をもつ)
遊び	遊びに対し罪悪感をもつ傾向	仕事と遊びの切替が上手(両立)
趣味	せいぜい1つか2つ	ワープロでも、何にでも好奇心旺盛
学習	情報やソフトについて苦手意識	情報の収集や学習の機会を把握するのが上手

※「もう型」の人……もう学習はゴメンだ、もうその必要はない、と言う型。
「まだ型」の人……これからも「まだまだ」いろんなことを学んでゆこうと言う型。

の視点があげられます。
●文化の価値の創造と教授を通して自己開発を楽しむ。
●ものの見方、考え方、感受性を遊び・レジャーで彩り、文化の世界を楽しむ。
●ライフサイクルの心身のコンディションに合わせて、レジャー・文化を楽しむ技術や方法を身につける。
●レジャー・文化の交流を通して人間関係を豊かに楽しむ。
このように考えたとき、人生八十年の計画、目標を持つことが大事になります。今からでも遅くはありません。年齢(発達段階)に応じた計画、目標をもって豊かに生きる喜びを味わおうではありませんか。

公民館講座

「初心者」草木染め教室」開催

鷺別公民館は、自然の素材で布地に着色させる「草木染め教室」を開催します。

▼日時 十一月十五日(木)・二十一日(木)の二回 いずれも午前十時～正午

▼場所 鷺別公民館

▼対象 市内に居住する一般成人

▼定員 三十名

▼内容 木綿ストールの製作(アイロンを使って発色させる)

▼講師 石橋栄子さん(草木染・手紡ぎ工房 布雲話里代表)

▼受講料 無料(ただし、材料費として千三百円必要)

▼用意するもの 厚手のゴム手袋、エプロン・ビニール袋(ストローを入れるもの)、筆記用具

▼申し込み・問い合わせ 十一月五日～十一月十三日までに鷺別公民館(☎8823)に電話でお申し込みください。(定員になりしだい締切ります)

登別市子どもミニバレー大会

参加チーム募集

登別市子ども会育成連絡協議会は、各町内会の小・中学生でチームを結成して行うミニバレー大会を開催します。

▼日時 十二月二日(日)受け付け：午前八時～午前八時三十分、試合開始：午前九時

▼場所 登別市総合体育館

▼チーム編成 小学生男子・女子各チーム：六人編成(補欠は二名以下)、中学生男子・女子各チーム：五人編成(補欠二名以下)

▼参加資格 小学三年生から中学三年生まで

▼参加料 無料

▼用意するもの 運動靴、昼食等

▼応募締切り 十一月十日(土)正午まで

▼申し込み・問い合わせ 教育委員会社会教育課(☎1100)

入浴サービス

ボランティア募集

登別市社会福祉協議会は、在宅の寝たきりのお年寄りを対象に入浴サービス事業を行っています。この事業に従事するボランティアの方を募集しています。

ボランティア業務は、対象者の送迎の介助、施設到着後の衣服の着脱、食事の際の介助などで時間はおおむね午前九時から午後三時まで、三か月に一回の割当です。

※詳しくは社会福祉協議会(☎0860)へお問い合わせください。

北の生活産業デザインコンペティション作品募集

道内の産業界のデザイン技術の向上とデザイン開発意欲の高揚を図るため「第四回北の生活産業デザインコンペティション」が開催

されます。多数ご応募ください。

▼募集期限 十二月八日(土)

▼募集作品 市内で生産された製品及び市内での製品化が可能な試作品(試作品は未発表のもの)

▼申し込み・問い合わせ 所定の申し込み書に出品料(二点につき二千元)を添えて事務局(北海道商工労働観光部工業振興課内「北の生活産業デザインコンペティション実行委員会」〒060札幌市中央区北三条西六丁目☎011-231-4111 線26-366)まで

富岸土地区画整理事業 宅地を分譲します。

家の建築を予定されている方、土地の用意はできましたか? 分譲地は学校や公園また商店街のすぐ近くに位置し、快適な環境です。建築時期の制限はありません。
▶所在地 登別市富岸町2・3丁目と新生町4丁目

- ▶分譲数 50区画
- ▶土地利用 第1種住宅地域、建ぺい率50%、容積率80%
- ▶分譲価格 4,876千円～8,993千円
- ▶分譲地積 208.74㎡～415.57㎡
- ▶申し込み・問い合わせ 都市計画課区画整理係(☎4115) ※販売は先着順です。

登別市と室蘭市の境界に突き出ている鷺別岬は、通称「鯨岬」ともいわれる。登別・幌別方面や室蘭のイタンキ・トツカリシヨの方から見ても岬の形が「鯨」によく似ているからであろう。また、鯨岬のふもとにある鷺別神社は、別名「鯨明神」と言われ神社境内の片隅にある小さな板に墨書し鯨と関係の深い神社であることを示している。

また新しくフンペ山にできたトネルの西側を、ヌサシコツ（幣場に行く沢）沿いに南西の方向に上ると、オンネヌサウシ（古いご幣場）という広場があつて昔こゝで大漁を祈ったり遭難者を救う祈りや鯨祭りをした場所であることが伝えられている。登別川が蘭法華（富浦）岬の方に河口が向くとサケが豊漁であるが、フンペ山に近づくともフンペ（鯨）が食べてしまふので不漁になる、という伝説

当り、江戸西丸小姓組から蝦夷地御用係りに任命されて蝦夷に渡つて功績をあげ、一八〇四年（文化元年）幕府の目付として、長崎に來航したロシア使節レザノフと会見し、日本国が鎮国中であることが理由に退去させている。

その後、西蝦夷地（日本海・オホーツク海側）を巡視し、一八〇七年（文化四年）西蝦夷地も幕府直轄とし松前藩を東北の梁川に移封している。ロシアの東蝦夷地襲撃には南部、津軽、秋田、庄内各藩の防備監察の役につくなど北海道に関係深い江戸幕府の役人であるが、遠山景晋が初めて来道した時の「未曾有之記」という本人の記録がある。その中に、ムロラン（崎守町）を五つ時（午前八時）前に出発して、本輪西の裏山からチリベツ（室蘭の知利別町）を通り、鷺別に到着、仮小屋で休み昼食をとっているが、この鷺別の小屋から「遙かに、鯨の潮を仰ぎ見ゆる画窓のごとし」と絵のように美しいと感嘆し、その後も時々鯨が潮をふきあげている様子を記録している。

登別と鯨の関係は、登別駅の海岸側の小山、フンペサバ（鯨・頭）、通称フンペ山の伝説でご承知のことであろう。昔、太平洋の海中に「シヨキナ」という巨大な鯨に似た怪物が住み人間に害を与えていたので、神々は相談してシヨキナの退治に出かけるが失敗し、最後にカワウソが登別の神々の助けを受けて見事にシヨキナを退治し、そのお礼として登別の神にその頭の方を置いていったのが登別のフンペサバであるという話である。

も知里・山田先生の「幌別町のアイヌ語地名」に説明されている。鯨明神や鯨岬に関係のある鷺別にも記載されている。

テレビに放映されて人気のあつた江戸北町奉行の遠山金四郎は、入墨判官でおなじみの代官であるが、彼の父遠山金四郎景晋は幕府の蝦夷地改革の功労者で、一七九九年（寛政十一年）江戸幕府が東蝦夷地（太平洋側）を直轄するに

当時は、登別・鷺別の沖にも春から夏にかけて鯨が、そしてイルカも多く遊泳していたのであろう。



登別郷土文化研究会 宮武 紳一

郷土史点描 鯨と登別の かかわり

市制二十周年記念・鷺別公民館
開館五周年記念

第十三回 合唱の集い

登別市文化協会コーラス部は、市民文化祭の行事である合唱の集いを開催します。

▼日時 十一月十七日（土）午後二時三十分より

▼場所 鷺別公民館二階ホール

▼入場料 無料

▼出演団体 幌中・鷺中・緑陽中の代表クラス、登別少年少女合唱団、登別フイメールコール、女声コーラスMFC、女声コーラスしおさい、ポニークラック

母子・児童相談

子どもの非行や登校拒否、しつけ、自閉症、養護、ことばの障害、児童施設入所などでお困りの方は、お気軽にご相談ください。

▼相談日 毎日午前九時～午後三時まで（土・日・祝日を除く）

▼場所 福祉事務所福祉課福祉係（市役所一階）

▼室蘭児童相談所の定例相談

十一月十五日（木）午後一時～午後四時：鉄南ふれあいセンター一階和室

※室蘭児童相談所が行う定例相談を希望される方は、予約制になります。お申し込み・お問い合わせは福祉事務所福祉係（☎2008）まで。

相談は無料です。

平成二年度「税を知る週間」

毎年十一月十一日から十七日は「税を知る週間」です。これは税務行政への理解と信頼を深めてもらうことを目的として実施するものです。

「税を知る週間」の期間中、各種の行事を行います。

●一日税務署長（十三日室蘭税務署）●税の相談室（十四・十五日ファミリーデパート桐屋）等。その他の行事日程については室蘭税務署（☎4151）へお問い合わせください。

無料法律相談

交通事故、金銭貸借、損害賠償、離婚など法律問題でお困りの方はご利用ください。

札幌弁護士会室蘭支部の弁護士2人が相談をお受けします。

なお、相談ご希望の方は、あらかじめお申し込みください。

▶日時 11月10日（土）午前9時から

▶場所 鉄南ふれあいセンター

▶定員 16人（定員になり次第締め切ります）

▶申し込み先 市民課市民生活係（☎1855）

※裁判や調停中のものはお受けできません。